

10月1日	新しい「屋久島世界遺産地域管理計画」の策定について
10月1日	「林政審議会」の開催及び一般傍聴について
10月3日	平成23年特用林産物の生産量(速報・主要品目)について
10月9日	世界遺産条約採択40周年記念最終会合一般参加者募集について
10月11日	「林政審議会」委員の公募について
10月12日	東日本大震災について～『みどりのきずな』再生プロジェクト』民間団体との連携に向けた説明会の開催について～
10月15日	「第3回 新たな世界自然遺産候補地の考え方に係る懇談会」の開催及び一般傍聴について
10月16日	「平成24年度 第2回 林政審議会 施策部会」の開催及び一般傍聴について
10月23日	「路網・作業システム検討委員会」の開催及び一般傍聴について
10月31日	「第48回 国際熱帯木材理事会」の開催について

森林で、走り、遊び、学ぶ！

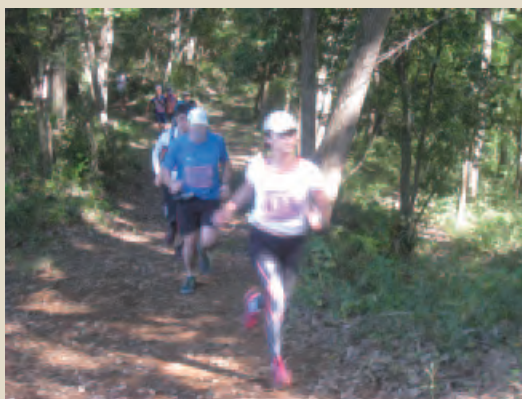
10月の秋晴れの日、東京の高尾山で第16回高尾山森林走遊学大会が開催されました。これは、高尾山の国有林を主な舞台に、森林で走り、遊び、学ぶ活動で、公益社団法人国土緑化推進機構や多くの民間企業の支援の下に開催されています。具体的には森林マラソン、トレールウォーキング、森林観察などの活動です。森林マラソンには最近のトレールランニングブームもあって700名を超える老若男女・親子の参加者があったほか、トレールウォーキングには中高年の方々、森林観察には子供達を中心にそれぞれ数十名の参加がありました。

これらの取り組みは、多くの国民の方々に森林とふれあい、森林の中で過ごすことの楽しさ、厳しさを味わっていただき、森林の大切さを認識していただくことと企画されたもので、登山家で医師の今井通子さんが中心となって組織された森林マラソン実行委員会が実施しています。16年前に高尾山国有林で行われたのを皮切りに、北海道局と九州局の国有林でも行われています。

大会はすべてボランティアで運営されています。森林インストラクターの方々の他、日本山岳ガイド協会の方々の他、国際山岳救助医の資格を持った医師(日本に2名しかいない中の1名)や看護師の方々の他、日本屈指の登山家の方々など蒼々たるメンバーが大会の運営に参加・協力してくれています。

大会は、今井さんから、森林がいろいろな役割を果たしていることを紹介していただいた後、「森の中で過ごすことの楽しさを体で感じてほしい」との挨拶で始まり、森林マラソンでは多くの参加者が森の中を駆け抜け、ゴールしてきました。みんな自然と一体となって走ってきた満足感にあふれていました。

参加者からのツイッター報告を見ると、「森の中を走る爽快感はすばらしい。マラソンを上回るかも。」「トレッキングや森林観察もあり様々な人が自然に楽しむことができるすばらしい大会です」など、森林の中での活動のすばらしさを感じていただけたようです。



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。